



～東の丘に芳しく香れ～

# 輝け! 東芳っ子

令和5年11月20日

東芳小学校だより

第27号

文責：校長 山際裕之

## 1・2年生 生活科 ～豊かな自然体験活動～

2年生が1学期に校庭の南側に植えたサツマイモが収穫の時期を迎え、サツマイモほりを行いました。畑は校庭の南側にありますが、日当たりが悪く土壌があまりよくありませんでした。昨年度はあまり大きく育ちませんでしたが、今年度は用務員さんが畑の土壌改良に取り組んでくれたため、明らかに収穫量が増えました。子どもたちは歓声をあげながらサツマイモの収穫を楽しみました。収穫が終わるとサツマイモのツルを使ってリースづくりがはじまりました。クリスマスにピッタリなリースが完成するのを楽しみにしています。

同日の5校時には、1年生がチューリップの球根を植えました。100個ほどをきれいに並べて植えました。来年の春にはきれいなチューリップが咲くことでしょう。こちらも用務員さんの協力を得て作業しました。実際に体験することで、1年生も2年生も自然や命の大切さを深く学ぶことができました。



## 6年生の人権教室 ～人権擁護委員の皆様、ありがとうございました～

11月15日、人権擁護委員の皆様をお迎えして人権教室を行いました。「思いやり・勇気、命の尊さ」をテーマとした紙芝居「白い魚とサメの子」を聞きながら、命、勇気、自分らしさを大切にすることなどについて考えました。「個性を認め合い、相手を尊重して、自分らしさに誇りを持つこと」など、本校が子どもたちに日頃から伝えていることを、改めて考える貴重な機会となりました。子どもたちの感想を見ると、短時間で書いたとは思えないくらい、内容も量も充実していました。



## 2年生「アートで広げる子どもの未来プロジェクト」ワークショップ

11月16日、2年生がNPO法人ドリームサポート福島のご支援による「アートで広げる子どもの未来プロジェクト」として、カラフルコミュニケーションというワークショップを受講しました。明治学院大学准教授の手塚千尋様を講師にお迎えして、『「ぼく/わたしのとっておき!」とうほうかるたをつかってあそぼう』というテーマで、生活科の町探検を通して見つけた自分の「とっておき」を200色近い中から選んだ色と言葉でかるたにしました。そして最後は、みんなで作ったかるたでかるた取りをして楽しみました。町探検を通して感じたことをマップ作りや東芳まっりの発表によりアウトプットした子どもたちは、ワークショップで色で表現する活動、言葉で端的に表現する活動へと発展させることができました。



## 児童集会でドッチビーを楽しみました

11月16日の児童集会は、縦割り班対抗ドッチビー大会の続きを行いました。全校児童が一堂に会して、楽しい時間を過ごしました。常に大きい学年の児童が小さい子を気にかけて積極的に世話をする姿、小さい学年の子たちがお兄さん、お姉さんを慕ってみんな笑顔で活動する光景がとてもよかったです。すばらしい本校の伝統をいつまでも継承していきたいと思います。ここ数年はコロナ禍のためにこういう活動があまりできませんでしたが、当たり前の日常が戻ってきてうれしいです。

